



日の里地区団地再生プロジェクト ～「のるーと」導入による新たな移動需要の創出～

都市再生部 都市再生課
内田 忠治





宗像市

都市再生部理事
都市再生課長

内田
UCHIDA

忠治
Tadaharu

- 1996.4 宗像市入庁
- 1996.8 公営企業部水道課 出向
- 2000.10 都市建設部道路建設課
- 2003.4 北九州市建築都市局
区画整理課 研修派遣
- 2004.4 都市建設部赤間駅周辺整備室
- 2007.10 都市建設部建築課
- 2008.4 都市建設部都市計画課
- 2017.4 国土交通省国土政策局
地方振興課 研修派遣
- 2018.4 都市建設部都市再生課
- 2020.4 都市再生部都市再生課

現在の仕事

都市再生、団地再生、街なか再生、空き地、空き家等の利活用及び適正管理、開発指導、建築指導、土地区画事業、市街地開発事業、交通施策

市の概要

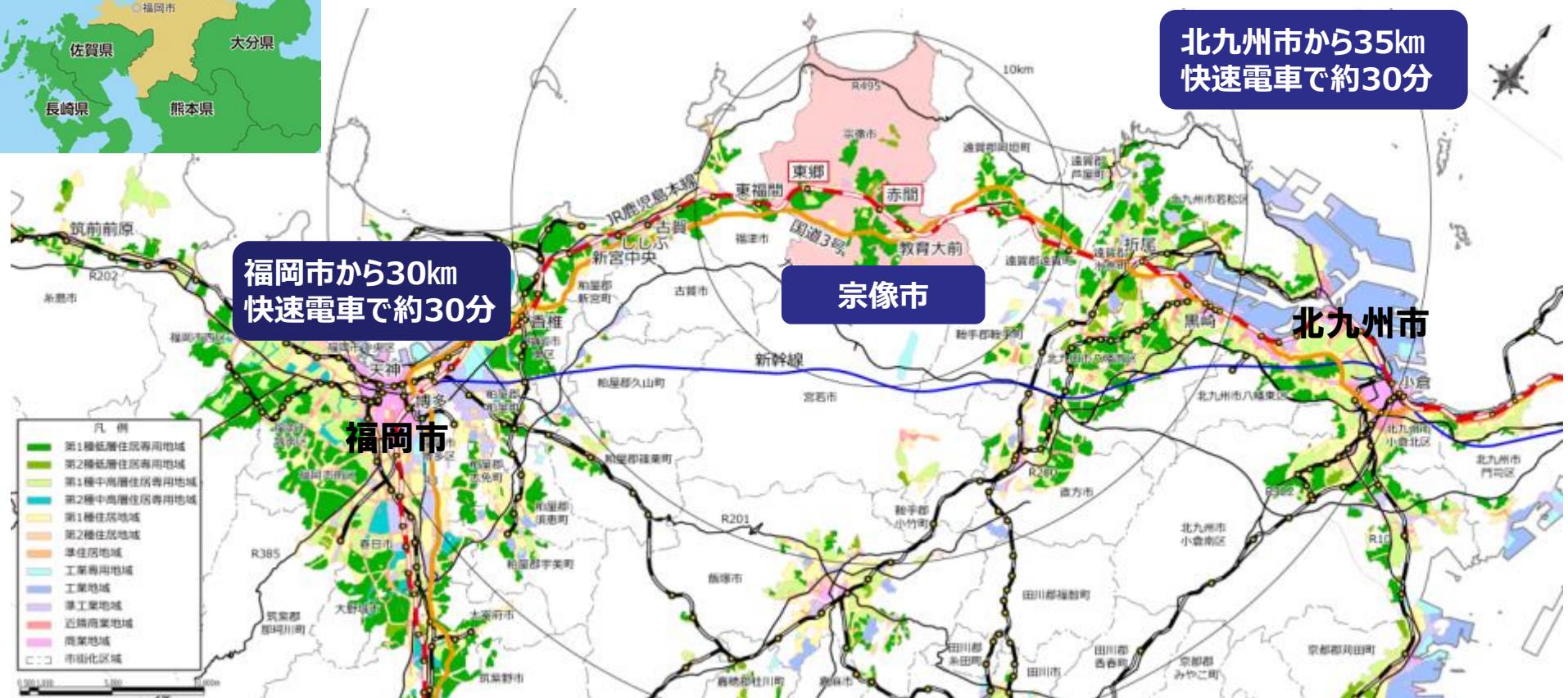


3



福岡県宗像市

豊かな自然に囲まれた宗像市は、福岡市と北九州市から約30キロ圏内に位置し、交通アクセスに恵まれた良好な住宅都市として発展してきた。



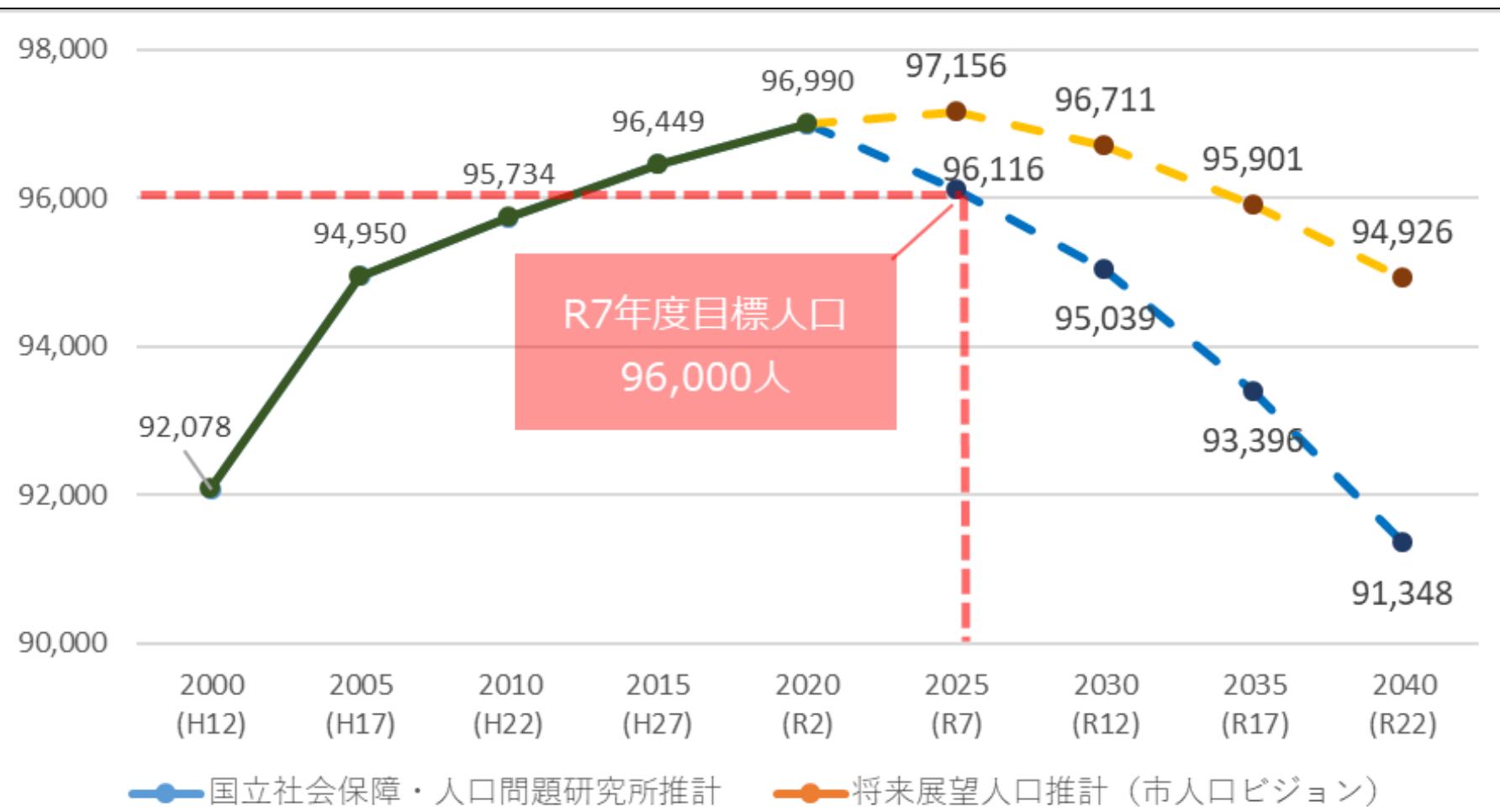
宗像大社



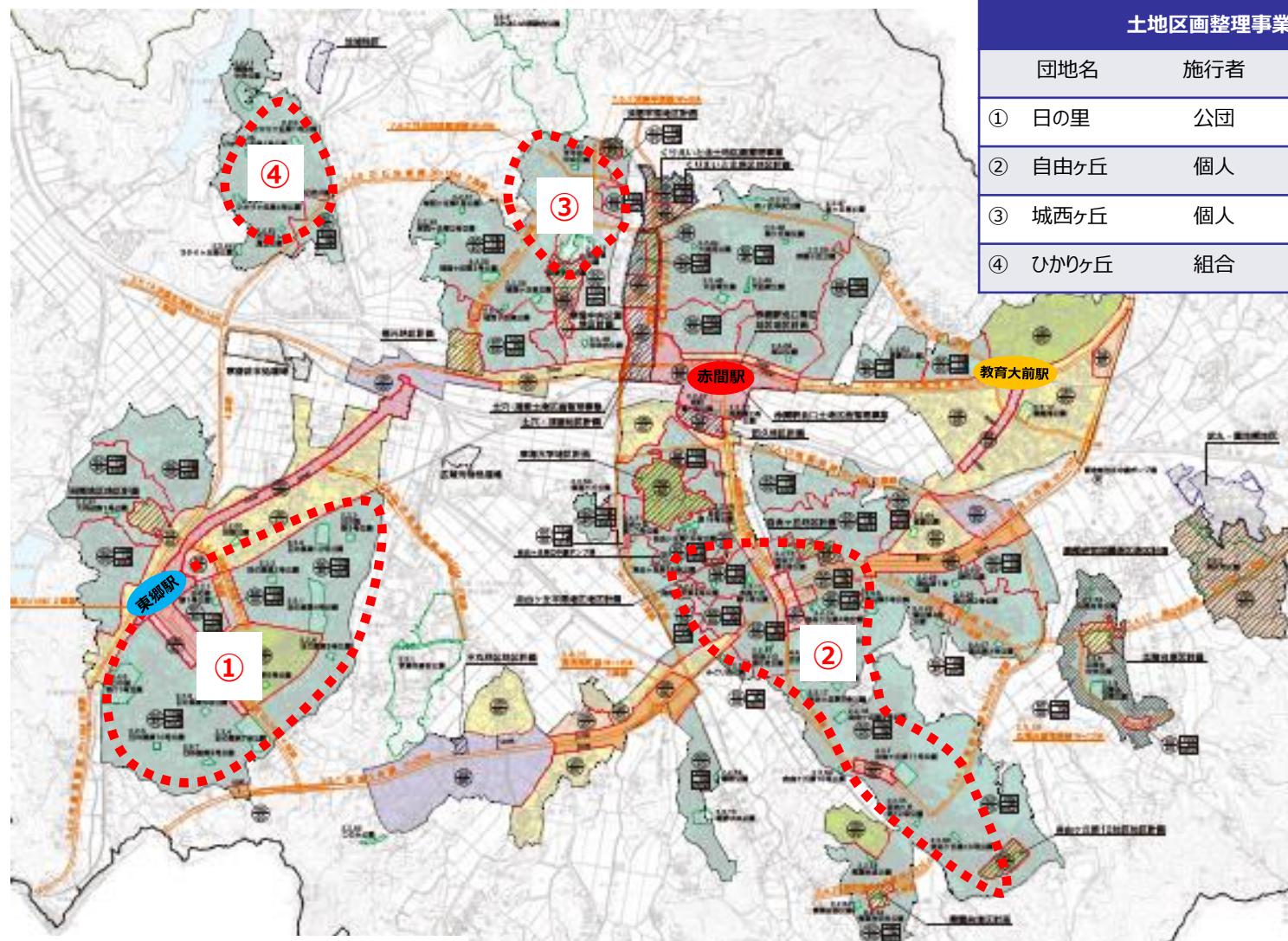
宗像ユリックス

- 人口 96,786人（令和6年3月31日現在_住民基本台帳）
- 世帯数 44,884世帯（令和6年3月31日現在_住民基本台帳）
- 面積 119.94 km²（平成31年3月31日現在）
- 都市計画区域 10,990ha（平成31年3月31日現在）
(市街化区域 1,876ha、市街化調整区域 9,114ha)

- 宗像市第2次総合計画策定時における、R7年度時点の目標人口96,000人は達成の見込み。
- 社人研の推計では、令和7年度。市人口ビジョンでは令和12年度には、人口減少に転じる見込み。
⇒人口減少に歯止めをかけることに加え、人口減少を見越した各施策の適正規模化が必要。



明治・大正期の九州鉄道株式会社（現 JR 九州）による鉄道開通を機に赤間、東郷などの駅周辺に市街地が形成されはじめ、昭和 40 年（1965年）前後に国鉄（現 JR 九州）鹿児島本線の電化、宗像バイパス（現国道 3 号）の開通に伴い、大規模な住宅団地開発、大学の建設などが相次いで進んだ。

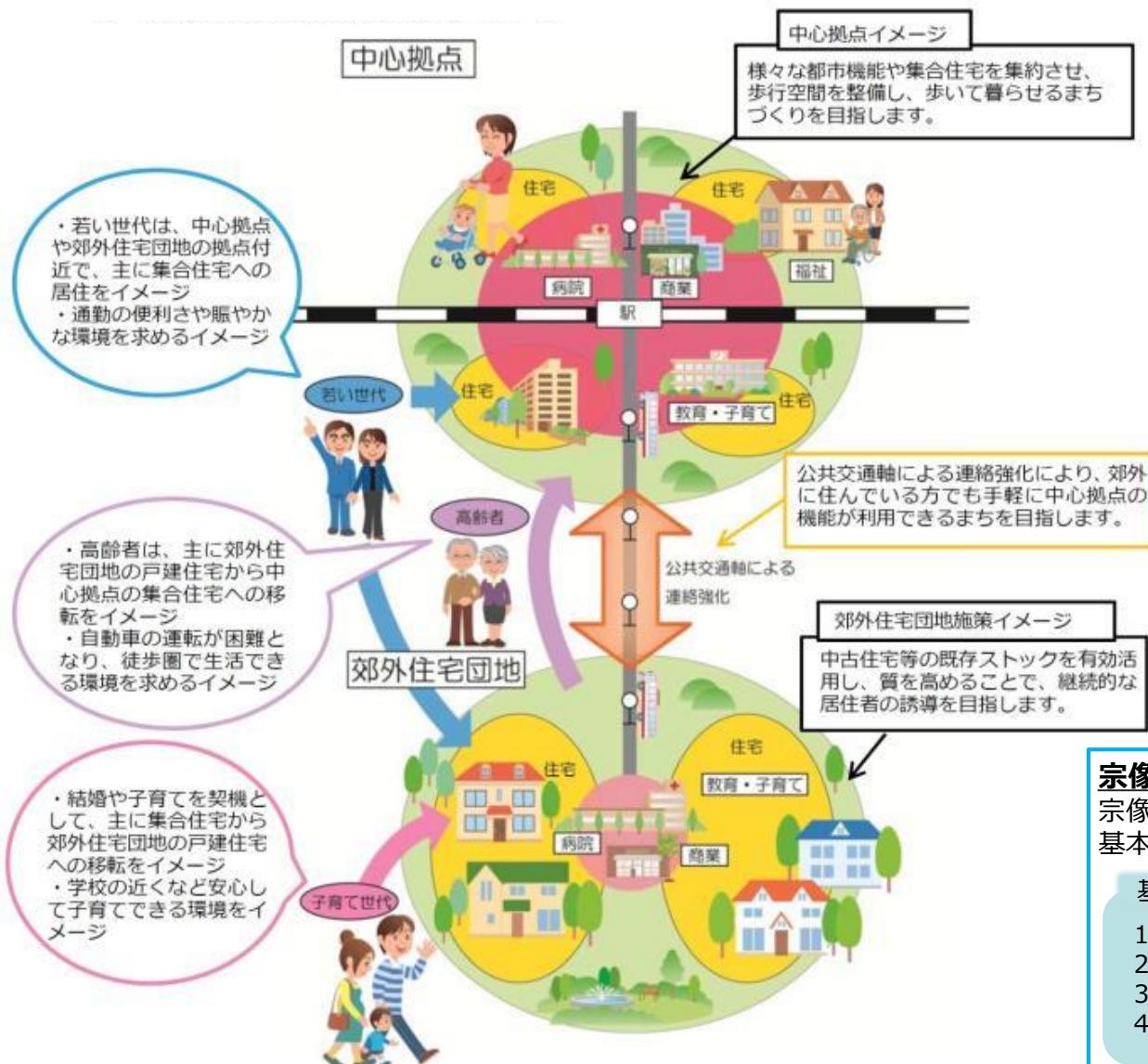


土地区画整理事業の主な実施状況

団地名	施行者	事業年度	施行面積
① 日の里	公団	S41～S45	約217.6ha
② 自由ヶ丘	個人	S40～H6	約173.9ha
③ 城西ヶ丘	個人	S49～S61	約51.9ha
④ ひかりヶ丘	組合	S43～S61	約44.7ha

「団地」…「集団住宅地」の略称

【目標】将来に向けて人口減少と高齢化の進展が見込まれるなか、「居住誘導区域」と「都市機能誘導区域」において、将来にわたり誰もが快適に安心して暮らせる都市環境の確保を目指す。



市街地の範囲や都市機能の立地をコントロールしながら、人口減少社会に耐え得る住みよいまちづくりの実現



【居住誘導区域】

商業施設や医療・福祉施設などやコミュニティが持続的に確保されるように居住の密度を高めていく区域

【都市機能誘導区域】

居住誘導区域の中でも特にまち全体として必要な都市機能の維持と新規立地を促す区域

宗像市都市再生基本方針 (H26府議決定)

宗像市版集約型都市構造の実現に向けた、都市再生の基本的な考え方を示す。

基本方針

- 公共交通ネットワークの強化
- 各拠点と交通軸への都市機能誘導
- 生活利便性の高い地域の再編成と居住誘導
- 将来都市像の明確化と土地利用のルールづくり

住宅団地再生の取組



昭和40年代に開発が始まった大規模住宅団地（日の里、自由ヶ丘等）は、**居住人口の減少、高齢化、住宅の老朽化**とともに**空き家の顕在化**が進行している。



【課題】

大規模な住宅団地の開発により人口が伸び続けてきたが、今後は人口が減少へと転換することが推測されており、人口減少に伴う住環境の悪化や地域活力の低下が懸念されている。そのため、住み替えや建て替え等の定住促進へ向けた取組みが喫緊の課題である。

<対応方針>

住環境の優位性を活かしたまちの質の向上／豊かな暮らし方を提供できる良好な住環境づくり

日の里地区：JR東郷駅があり、国道3号にも隣接していることから、**広域交通の便が良好**

自由ヶ丘地区：JR赤間駅までの南北縦断バスや福岡市内までの高速バスの運行もあり、**公共交通軸が充実**
⇒**空き地・空き家情報や住み替え情報の提供、老朽化した住宅の建て替えを促進する。**

<主な取組みの変遷>

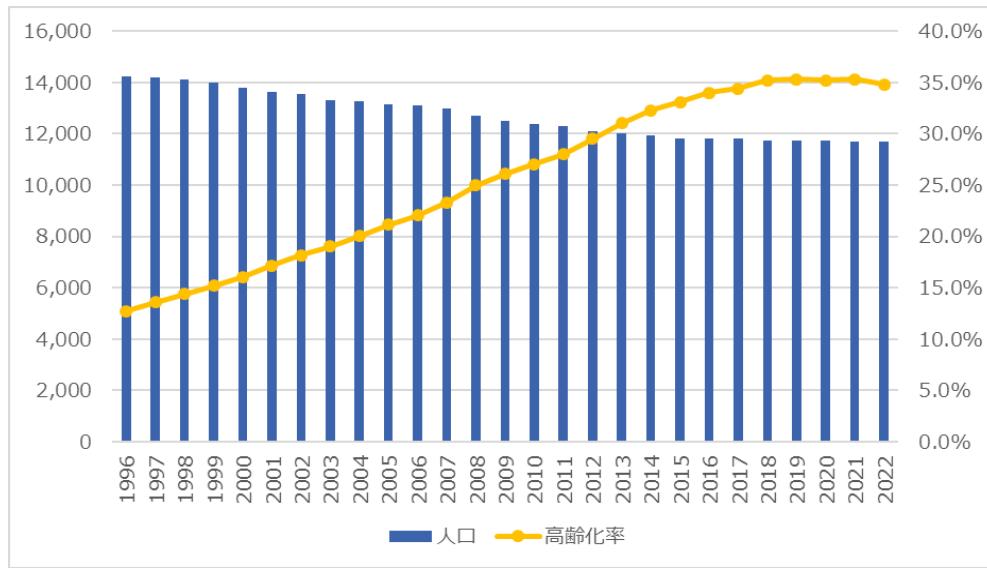
H25	H26	H27	H28	H29
<ul style="list-style-type: none"> ▽ 都市再生庁内プロジェクトチーム創設・団地再生等の調査研究 ▽ 宗像市都市再生戦略の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 宗像市都市再生連携協力に関する協定書締結 ▽ 日の里地区まちづくり計画特別委員会の設立 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 宗像市都市計画マスタープランの改定 ▽ 再生事業を推進する「都市再生事業推進協議会」設立 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ U R日の里団地の再生による利活用検討 ▽ J R東郷駅前空き店舗活用（CoCokaraひのさと） 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ U R日の里団地（解体予定の10棟）の利活用検討 ▽ CoCokaraひのさとの賑わい創出事業拡充
H30	R1	R2【団地再生元年】	R3	R4予定
<ul style="list-style-type: none"> ▽ 宗像市都市再生ピッチ大会＆パネルディスカッションの開催 ▽ 日の里地区エアリーマネジメントの構築として人材発掘ミーティングやワークショップを実施 ▽ 都市再生課の新設 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 福岡県宗像市日の里団地共同企業体と連携協定を締結（ひのさと48プロジェクト始動） ▽ ココカラ運営協議会の法人化に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 国道3号「新王丸橋橋台」へのウォールアートプロジェクトの実施 ▽ オンデマンドバスの実証運行開始 ▽ 生活利便施設「ひのさと48」グランドオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 「さとのはhinosato」まちびらき ▽ 日の里地区都市再生ビジョン策定 ▽ 自由ヶ丘地区でショッピングモビリティやドローンの実証事業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▽ 空き家等を活用した面的整備手法の検討 ▽ 自由ヶ丘地区都市再生ビジョンの検討

日の里地区の概要



- ◆日の里地区は、福岡市の北東約25km、北九州市の西約35kmに位置し、地区北側はJR鹿児島本線に接する標高30~80mの概ね北傾斜の丘陵地であった。
- ◆事業名称は「宗像都市計画事業東郷土地区画整理事業」、施行者は日本住宅公団（現都市再生機構）であり、施行面積は、2,176,723m²、施行期間は昭和36年から45年である。計画戸数は5,100戸、計画人口は20,000人である。
- ◆土地利用計画は、地区中央を南北に縦貫する都市計画街路2・1・6号線（W=20~25m）を境として東西に二つの近隣住区を構成し、それぞれに小学校及びサブショッピングを設けた。また、開発ベースとなる集合住宅を地区中央部に配置し、東郷駅周辺に行政・商業施設等を配して、地域発展の核とするよう計画した。公園としては、丘陵・ため池等を有効に利用した近隣公園、遺跡を取り入れた古墳公園を設けたほか、誘致距離を考慮して、児童公園（街区公園）を適宜配置した。
- ◆地区内は、郵便局、小学校が2校、中学校が1校ある。
- ◆地区北部にはJR鹿児島本線が通過して、JR東郷駅が位置している。また、福岡市と北九州市を結ぶ宗像市の広域軸である一般国道3号にも隣接し、広域交通の便に恵まれている。
- ◆同時期に同世代が入居し、半世紀近くが経過した現在、高齢化や空き家化の急速な進行が危惧されている。また、団地内には一部の棟を除き、エレベーターがない。

日の里地区の人口・高齢化率の推移



2023(R5)年度末	世帯数	人口	高齢化率
市全体	44,884	96,786	30.7%
日の里地区計	5,707	11,783	34.3%
日の里1丁目	493	1,062	26.1%
日の里2丁目	481	1,041	33.9%
日の里3丁目	378	836	34.2%
日の里4丁目	381	872	32.0%
日の里5丁目	540	1,141	31.2%
日の里6丁目	478	1,095	32.5%
日の里7丁目	544	1,249	34.8%
日の里8丁目	478	1,124	31.0%
日の里9丁目	565	1,250	38.2%
日の里公団1区	957	1,434	40.3%
日の里公団2区	182	353	33.4%
日の里公団3区	230	326	55.8%

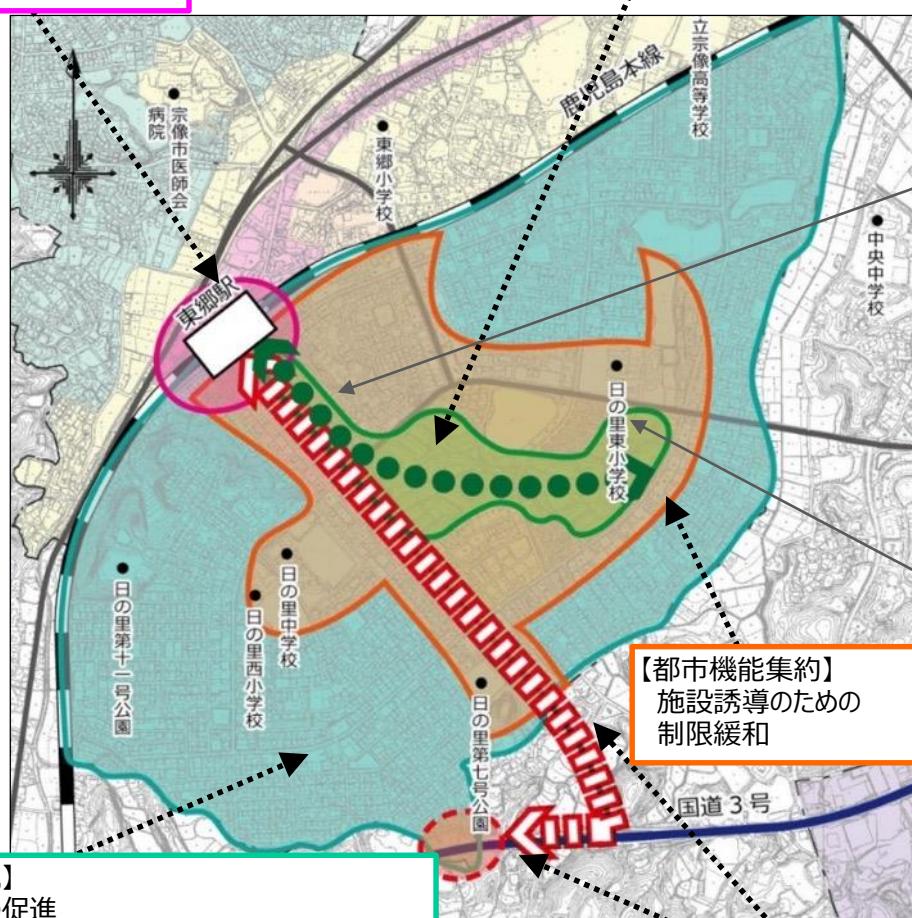
日の里地区の都市再生方針

【拠点（東郷駅周辺）】

1. 魅力的な拠点の形成
2. 街なか居住の推進
3. 低未利用地等の集約

【UR団地】

1. 入居率向上のための支援
2. 団地の魅力向上のための支援
3. 住宅改修や利活用等に関する支援



【既存住宅団地】

1. 住み替えの促進
2. 子育て・高齢者支援サービス施設等の導入支援
3. 街区単位での民間開発等の誘導
4. 需要に応じた画地の再編
5. 散在する空き地・空き家の有効活用
6. 住環境の質の向上
7. 用途地域の緩和
8. 民間事業での住宅再生策

【交通軸】

- 公共交通軸の強化
(バス停・P&R駐車場の整備)



UR日の里一丁目団地集約再編事業



日の里東部生活拠点（ひのさと48）



IT'S IN STORES NOW.



ストック再生による集約事業



10

都市再生機構が平成30年度までの再生・再編の方向性を定める「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」(H19.12.26)を策定し、令和15年度までのUR賃貸住宅ストックの多様な活用の方向性を定める「UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン」において、日の里団地はストック再生による集約事業を行う。跡地の活用については、日の里地区の住民と意見交換を実施し、とりまとめた意見と市のまちづくり構想をURへ提案して、公募条件に反映。事業者はURから引き継いだ6棟のうち5棟を解体し、1棟を生活利便施設にコンバージョンした。



ハイブリット型団地再生「宗像・日の里モデル」



11

多様な主体が交わり、新たな「さとづくり」の推進力に！



令和2年3月26日
福岡県宗像市日の里団地共同企業体と
日の里地区まちづくりに関する連携協定締結

- 住友林業(株) ○セキスイハイム九州(株)
- ミサワホーム九州(株) ○大和ハウス工業(株)
- パナソニックホームズ(株) ○積水ハウス(株)
- トヨタホーム九州(株) ○東宝ホーム(株)
- 西部ガス(株) ○東邦レオ(株)
(共同企業体 計10者)
- 一般財団法人住宅生産振興財団
- 独立行政法人都市再生機構九州支社
- 宗像市
(市も含み計13者)

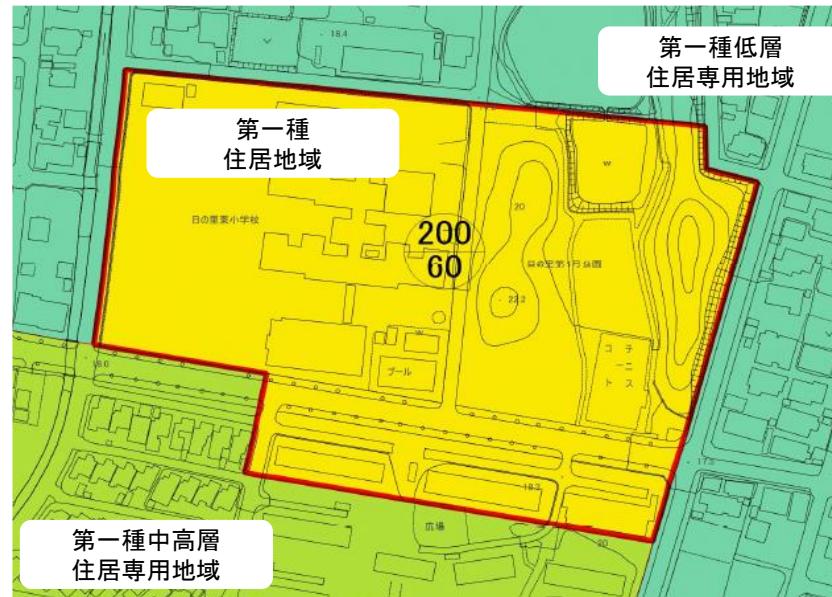


● 用途地域の変更

- ✓ 昭和40年代に造成後、約50年が経過し、建物の老朽化や住民の高齢化が進み、空き地や空き家の増加等が課題
 - ✓ 団地所有者のUR都市機構が集約型団地再生事業を実施することに合わせ、隣接する低層住宅地との調和を図りつつ、地区の魅力を向上させる施設の立地を誘導できるよう、令和元年12月に用途地域を変更
- ▶ 「第一種低層住居専用地域」と「第一種中高層住居専用地域」から「第一種住居地域」に用途地域変更したことで、事務所や床面積500m²超の店舗、3,000m²以下の中高層ホテル等の立地が可能となり、土地利用の幅が拡大

● 地区計画の決定

- ✓ 用途地域を第一種住居地域に変更した上で、誘導する機能等を制限するため、日の里東地区地区計画を整備
- ▶ 「教育施設地区」「沿道業務地区」「低層住宅地区」の3つに区分し、隣接する住宅地との調和が図られるよう制限



生活利便施設「ひのさと48」&さとのはhinosato



13

生活利便施設「ひのさと48」では、CO-doingスペース、DIY工房、団地ブリュワリー、コミュニティカフェ、シェアキッチン等地域に開かれたコミュニティスペースを展開し、さとづくり48プロジェクトのコンセプトに共感していただいたウクレレ制作工房「四弦舎」、認定保育園「ひかり幼稚園」、写真スタジオ「Jubileephotos」、児童発達支援「げんきっこくらぶるーつ」、有機野菜栽培「オーガニックパパ」、ドーナツ工房「もぐもぐポケット」等の事業者と一緒にまちづくりにチャレンジしている。中央の緑地（サトヤマ）を囲む戸建住宅エリアでは、「さとのはhinosato」（64戸）が誕生し、令和5年6月現在、52戸の契約が完了している。



hybrid

次世代に引き継ぐレガシー

住棟を活用した生活利便施設

新しい価値の創造

先駆的な戸建て住宅



「ひのさと48」が地域の会話量を増やす拠点となり、新たなコミュニティを創出



さとづくりは、日の里づくりでも、ふるさとづくりでもあります。

48号棟が生み出す新たな文化、クリエイティビティと人にフォーカスしたプロジェクト
それが「さとづくり48」プロジェクトです。





団地クライミング

～中学生のアイデアを大人が本気で実現～

【現状・課題】

▶ 高齢化が進み元気がなくなってきてている日の里団地に若者が集まる場所をつくりたい

団地には壁がたくさんあるから、クライミングウォールをつくる盛り上げたい！



アイデア実現のためにクラファンを実施！

約1ヶ月半で 2,752,000 円の

応援が集まりました。

アイデアを実現するためにはお金が必要です。今回は、特定の企業や団体だけの出資に頼るのではなく、より多くの、多様な人たちの気持ちで実現できればと、地域特化型クラウドファンディングにて応援を募りました。宗像市内や日の里地区にお住まいの方だけでなく、過去に日の里団地に住んでいたという方から多くの応援の声やご支援を賜り、約1ヶ月半の実施で311組の方から総額2,752,000円の応援が集まり実現に至りました。



都市が
抱える
課題

- ・公園緑地の利活用策について検討が必要
- ・空き地、無蓋駐車場等の低未利用土地の常態化

- ・徒歩利便性の更なる充実
- ・住宅ストックの有効活用が必要

まちづくり
の方針
(ターゲット)

民間事業者との連携による公共空間や住宅ストック等の活用

公共空間の活用

- 公園や公共空地等の公共空間の更なる有効活用の検討
- 民間事業者誘致による住民の利便性向上につながる事業の展開

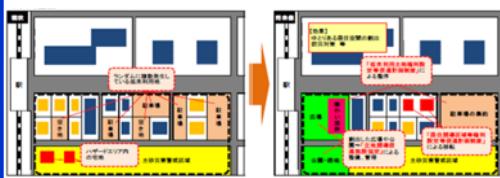


事業イメージ（埼玉・みさと団地）

低未利用土地の面的整備

駅まち空間の有効な活用

- 空き地、無蓋駐車場等の低未利用状態にある地区の再生手法の検討
- 民間事業者等との検討会による手法の決定。
- 駅前の魅力向上をはかり、コンパクトなまちづくりを目指す。



住宅のリノベーション

- 民間事業者と連携して、賃貸住宅の空き部屋や空き家のリノベーションを行うもの
- 現在の住宅ニーズに対応できるよう、民間事業者と連携し、住宅ストックの利活用を促す。



評価指標

日の里地区全人口に対する39歳以下の割合

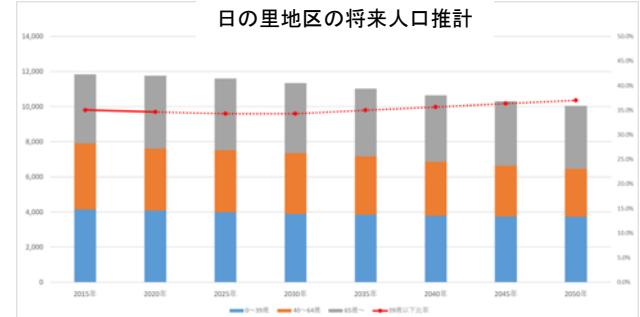
設定根拠　日の里地区は39歳以下の比率を維持しているため

現状値　34.6% [2020年度]

目標値　2020年の現状値を上回ることを目標にします。
2025年：34.8%、2030年：35.0%

算出方法　住民基本台帳人口(外国人住民を含む)

日の里地区の将来人口推計

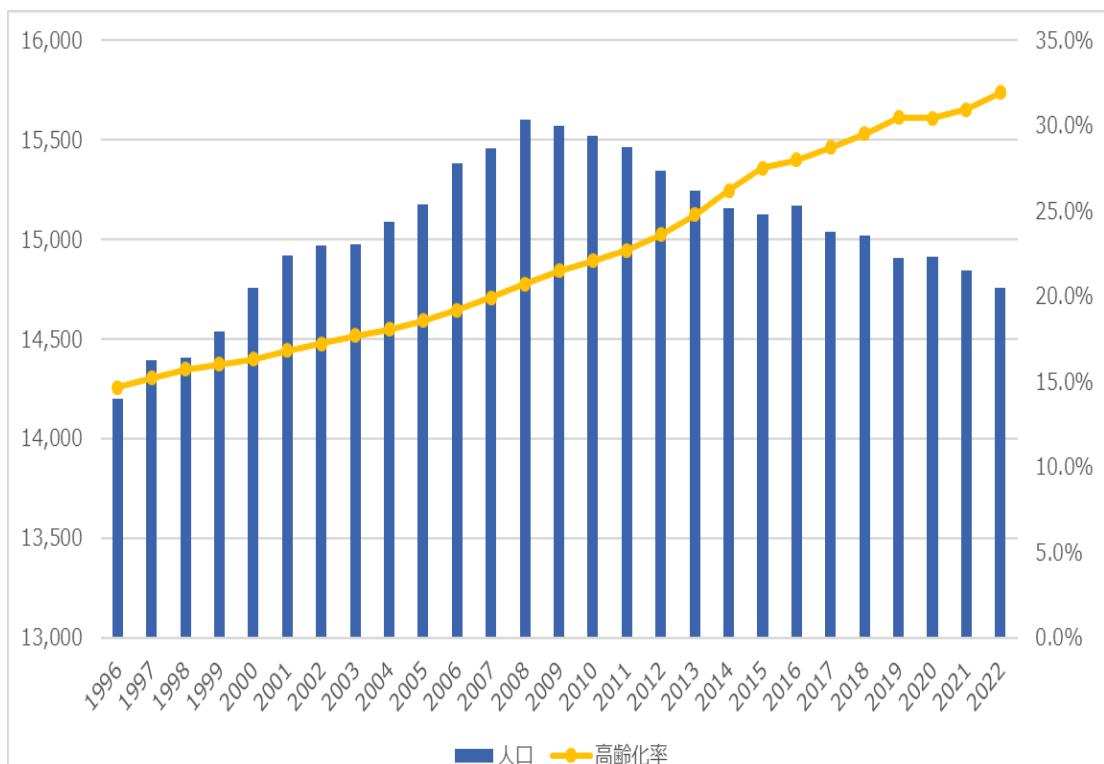


KPI
の設定

自由ヶ丘地区の概要

- ◆事業名称は「宗像都市計画事業宗像森林都市土地区画整理事業」施行面積は約248.7ha、施行期間は昭和39年から平成に至るまで段階的に開発された、戸建てを中心とした住宅団地である。
- ◆開発の都度、区域内に一斉に入居が進み、現在まで建て替えや世代交代が進まないことから高齢化率が極端に高くなっている。
- ◆高齢化率では、宗像市全体は30.9%であるが、開発が早かった10丁目や南1丁目では50.0%を超えている。
- ◆本地区の主な公共交通は地区を南北に通る民間バスである。昭和55年にJR赤間駅への快速バスが運行開始し、昭和63年には国道3号宗像バイパスが供用しており、南北軸及び東西方面へのバス交通は充実している。

自由ヶ丘地区の人口・高齢化率の推移



2023(R5)年度末	世帯数	人口	高齢化率
市全体	44,884	96,786	30.7%
自由ヶ丘地区計	6,369	14,631	32.5%
自由ヶ丘1丁目	197	483	33.3%
自由ヶ丘2丁目	614	1,253	23.8%
自由ヶ丘3丁目	282	623	32.6%
自由ヶ丘4丁目	254	567	40.0%
自由ヶ丘5丁目	297	685	37.5%
自由ヶ丘6丁目	365	1,000	18.8%
自由ヶ丘7丁目	529	1,230	29.8%
自由ヶ丘8丁目	330	764	31.5%
自由ヶ丘9丁目	219	501	35.1%
自由ヶ丘10丁目	405	852	50.0%
自由ヶ丘11丁目	375	773	42.7%
自由ヶ丘西町	395	680	31.5%
自由ヶ丘南1丁目	349	730	54.7%
自由ヶ丘南2丁目	224	478	50.2%
自由ヶ丘南3丁目	433	981	47.7%
青葉台1丁目	345	882	23.6%
青葉台2丁目	422	1,009	33.3%
自由ヶ丘南4丁目①	120	360	0.3%
自由ヶ丘南4丁目②	214	780	2.6%



人もサービスも移動する、未来のまちの暮らしやすさを

学ぶ・知る

2021.11.26

宗像市内の住宅街にキッチンカー Mellowと宗像市が実証実験



レベル2自動運転実証事業 (令和6年2月予定)



近隣公園でのショップモビリティ実証事業



日用品ドローン配達実験
宗像・自由ヶ丘 高齢化・利便性向上

日用品ドローン配達実験
宗像・自由ヶ丘 高齢化・利便性向上

報告

ドローン実証事業
～未来技術を活用した商品配達～

自由ヶ丘地区での都市再生事業の一環として、3月6日、未来技術(ドローン)を活用した配送実証事業を行いました。この事業は、「サービスが人の近くに移動する」という概念の実証を行うため、昨年実施した「ショップモビリティ実証事業」をさらに深化させた、未来技術の活用で「サービスが直接住のものと一緒に届く」ことについて検証を行いました。

商品を積み込み、朝町を離陸したドローンは、約1km離れた自由ヶ丘中学校まで飛行し、無事に配達をすることができました。今後も誰もが住みやすい持続可能なまちづくりを目指し、都市再生の推進に取り組みます。

ドローンによる食料品配達実証事業

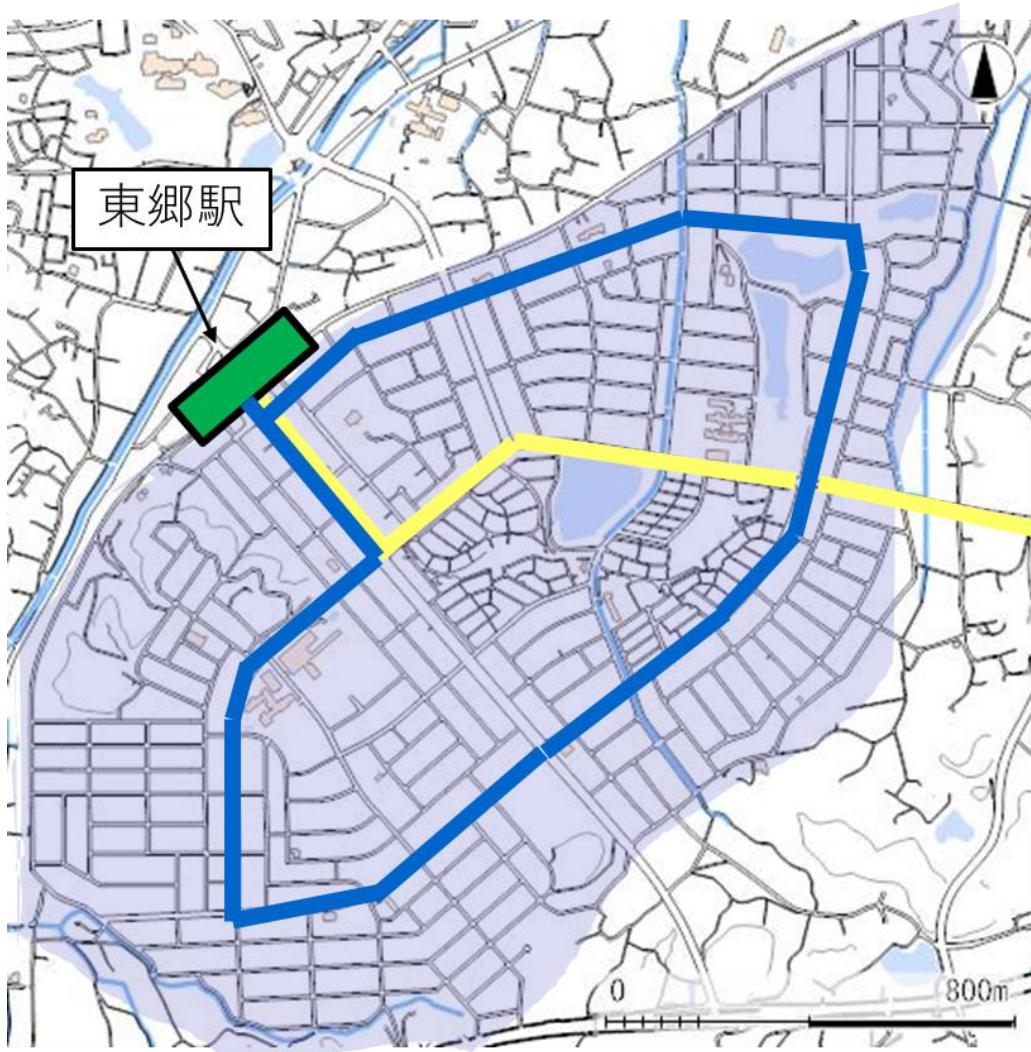
100m上空を飛行し、自由ヶ丘中学校に着陸するドローン

ドローンに商品を積み込むマックスバリュえいと宗像店 店長の吉本さん

住民が見守る中、商品を乗せて上昇するドローン

ドローンによる食料品配達実証事業

【路線バス（日の里線）の概要】



- 運行台数：1台
- 便数
 - 循環線：右廻り14便
 - 左廻り14便（青）
- 宗像ユリックス線：9便（黄）
- 乗車人数：約130人／日（平日）



路線バスの廃止



代替交通の検討



団地再生の取組み



新技術を活用した公共交通

令和2年2月上旬

口頭で廃止する旨の説明

令和2年2月下旬

代替交通について協議開始
(地域コミュニティ運営協議会)



令和2年3月下旬

正式な廃止申出
「のるーと」導入で地域と合意

令和2年5月

地域へのチラシ配布
路線バスの廃止、「のるーと」の導入説明



令和2年7月

導入決定
(地域公共交通会議で承認)
住民説明会
(7回、108人)

令和2年8月

「持続可能な公共交通体系の構築に向けた研究に関する協定」締結

令和2年11月

実証運行計画決定
(地域公共交通会議で承認)

令和3年2月上旬

住民説明会
(運行計画・予約方法 5回、108人)

令和3年2月上旬

住民試乗会
(利用説明・体験 1回、32人)

令和3年2月下旬

運行開始記念式典
(関係事業者・地元小学生 60人程度)
(テレビ局2社、新聞社2社)



【導入前】

利用者の反応

- 予約が必要であることへの抵抗感
- 「AI活用型オンデマンドバス」という聞きなれない言葉を受け入れてもらえない



【導入後】

利用者の反応

- 導入前の周知活動の効果もあり、否定的な意見はない
- アプリでの予約方法や乗車方法に関する問合せが市・コミュニティセンターに殺到



対応

- 「のるーと」の特徴と利便性を説明
- コミュニティ役員とアイランドシティ視察

周知活動

- 導入のお知らせの全戸配布
- 住民説明会の開催
- 乗車会
- 記念式典
- リーフレットの全戸配布
- 市情報誌、HP掲載



対応

- 定期的な相談会の実施に加え、よくある質問には広報誌やコミセン便りで回答
- システムや仕様など運行に関する課題は、その都度運行事業者やシステム会社と調整

周知活動

- 相談会・出前説明会の実施
- 市情報誌、HP掲載、コミセン便り
- アプリ内お知らせ、メルマガ配信
- 東郷駅デジタルサイネージ掲載
- 「ひのさと48」オープニングイベントでPR
- 市役所スマホお助け窓口での説明



乗降場所マップ



東郷駅日の里口

銀行

日用品店舗

日用品店舗

宗像ユリックス

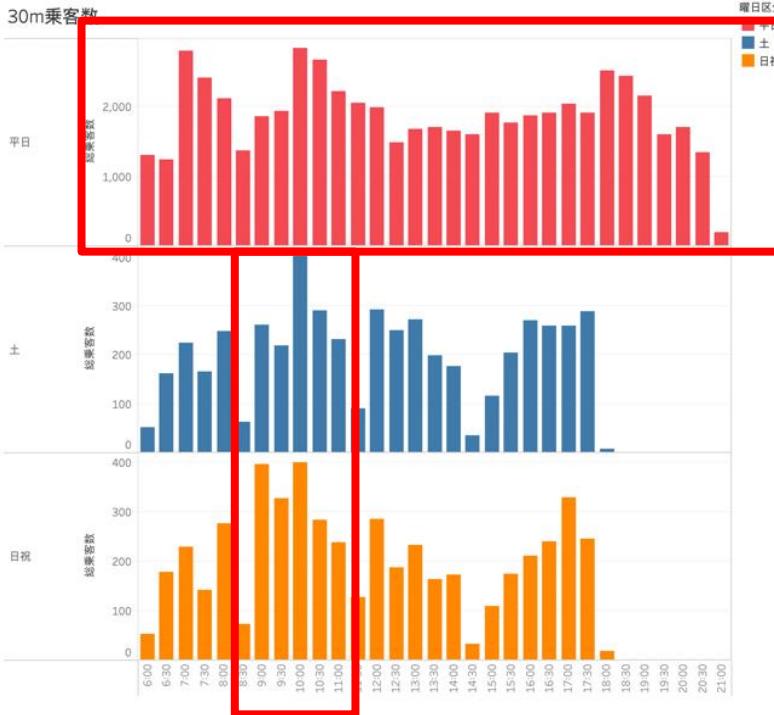
サインタワーか
路面シートか
サインタワーが目印!



サインタワー：レガネット宗像店、宗像医療会病院、
日の里地区コミュニティ・センター
路面シート：上記の場所以外

乗降場所：85ヶ所

- 久、原 ①：宗像ユリックス
- 田 4-③：レガネット宗像店
- 田 5-③：宗像医療会病院
- 日の里1-③：宗像駅日の里口
- 日の里1-②：日の里一丁目(西向き)
- 日の里1-③：日の里第一号公園南
- 日の里1-④：日の里第一号公園北
- 日の里1-⑤：日の里地区
- 日の里1-⑥：コミュニティ・センター
- 日の里1-⑦：サニーワン日の里店
- 日の里1-⑧：西日本銀行日の里支店前
- 日の里1-⑨：日の里一丁目(西向き)
- 日の里2-①：暮村内興消化器科
クリニック(西向き)
- 日の里2-②：暮村内興消化器科
クリニック(西向き)
- 日の里2-③：ヴィラ日の里前
- 日の里2-④：日の里二丁目17番地西
- 日の里2-⑤：ドリームリマ前
- 日の里3-①：日の里第三号公園北
- 日の里3-②：日の里三丁目3番地南
- 日の里3-③：日の里三丁目3番地北
- 日の里4-①：日の里四丁目(西向き)
- 日の里4-②：日の里四丁目(西向き)
- 日の里4-③：日の里四丁目(北向き)
- 日の里4-④：日の里四丁目(北向き)
- 日の里4-⑤：四丁目公園前(西向き)
- 日の里4-⑥：四丁目公園前(北向き)
- 日の里5-①：公団アパート(西向き)
- 日の里5-②：新丁目公園前(西向き)
- 日の里5-③：第二公園住宅前(北向き)
- 日の里5-④：日の里五丁目3番地南
- 日の里5-⑤：日の里駅前郵便局
- 日の里5-⑥：暮村内興消化器科病院前
- 日の里5-⑦：第一公園住宅前(北向き)
- 日の里5-⑧：ローソン宗像日の里
五丁目店前(北向き)
- 日の里6-①：第二公園住宅前(西向き)
- 日の里6-②：コンボスデラA横越
- 日の里6-③：日の里六丁目14番地西
- 日の里6-④：日の里六丁目(西向き)
- 日の里6-⑤：日の里六丁目公園前
- 日の里6-⑥：日の里六丁目23番地西
- 日の里7-①：日の里七丁目84番地北
- 日の里7-②：日の里八丁目(西向き)
- 日の里7-③：日の里七丁目(西向き)
- 日の里7-④：日の里七丁目3番地北
- 日の里7-⑤：日の里七丁目9号公園前
- 日の里7-⑥：日の里七丁目21番地東
- 日の里7-⑦：日の里七丁目28番地南
- 日の里7-⑧：日の里七丁目35番地西
- 日の里7-⑨：日の里七号公園前
- 日の里8-①：第一公園住宅前(北向き)
- 日の里8-②：ローソン宗像日の里
五丁目店前(北向き)
- 日の里8-③：日の里駅前郵便局
- 日の里8-④：日の里八丁目15番地東
- 日の里8-⑤：日の里八丁目(北向き)
- 日の里8-⑥：日の里七丁目(北向き)
- 日の里8-⑦：西小学校入口(南向き)
- 日の里8-⑧：西小学校入口(北向き)
- 日の里8-⑨：日の里駅前郵便局
- 日の里9-①：日の里九丁目1番地東
- 日の里9-②：日の里九丁目27番地西
- 日の里9-③：日の里駅前郵便局
- 日の里9-④：日の里九丁目(北向き)
- 日の里9-⑤：日の里九丁目21番地西
- 日の里9-⑥：日の里九丁目22番地東
- 日の里9-⑦：西小学校入口(北向き)
- 日の里9-⑧：日の里九丁目35番地東



曜日別・時間帯別の乗客数

乗車場所		
1	東郷駅日の里口	29,011
2	レガネット東郷店	4,457
3	サニー日の里店前	3,877
4	宗像ユリックス	3,237
5	日の里4丁目	2,509
6	第2公団住宅前	2,402
7	コンポステラA棟前A	2,120
8	日の里8丁目	1,720
9	日の里7丁目	1,598
10	日の里6丁目	1,391
11	西日本シティ銀行日の里支店前	1,341
12	島村内科消化器科クリニック	1,207
13	4丁目公園前	1,206
14	日の里5丁目3番地南B	1,145
15	日の里第3号公園北A	1,105
16	高橋整形外科医院前	947
17	日の里4丁目入口	946
18	日の里第9号公園南B	868
19	日の里3丁目	845
20	日の里第3号公園北B	798

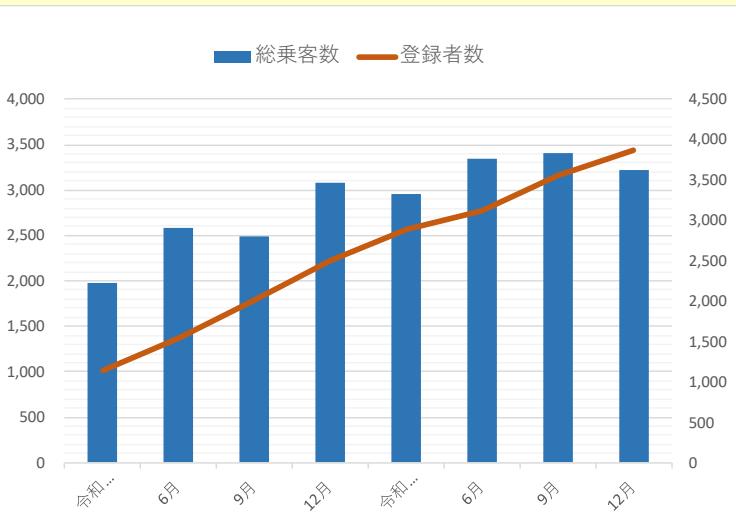
降車場所		
1	東郷駅日の里口	26,616
2	宗像ユリックス	4,408
3	日の里8丁目	3,916
4	レガネット東郷店	3,143
5	西日本シティ銀行日の里支店前	2,521
6	高橋整形外科医院前	2,322
7	日の里4丁目	2,237
8	4丁目公園前	1,874
9	日の里7丁目21番地東B	1,726
10	日の里西保育園前A	1,672
11	第2公団住宅前	1,669
12	日の里7丁目	1,580
13	日の里第3号公園北B	1,461
14	日の里第9号公園南B	1,395
15	日の里7丁目9番地北A	1,257
16	日の里西小学校前	1,155
17	コンポステラA棟前A	1,030
18	日の里第8号公園南B	967
19	第1公団住宅前	893
20	サニー日の里店前	883

乗車及び降車場所の乗客数（上位順）

- ▼平日利用が多くを占め、土日祝日は9:00～10:00の時間帯の利用者が多い
- ▼平日は「通勤・通学」時間に限らず、全時間帯で利用されている
- ▼東郷駅やユリックスなどの公共・公益施設、日用品店舗、銀行などの生活利便施設の乗降が多い
 - ⇒「通勤・通学」と「日常生活」双方で活用されており、様々な世代の利便性向上に寄与している

利用状況

1 総乗客数と登録者数



令和5年3月

1日当たりの利用者数

総乗客数 4,027人

平日平均 158人

登録者数 3,721人

休日平均 73人

利用者数、登録者数とも順調に増加

2 予約方法の推移



令和3年3月
アプリ61%
電話39%

令和5年3月
アプリ83%
電話17%

令和6年1月
アプリ84.8%
電話15.2%
自動音声4.1%
オペレーター11.0%
その他0.1%



団地再生モデルの構築について(ひのさと暮らしLABO)

「寝に帰ってくる場所から事業を創りにやってくる場へ」全国へ波及を目指す団地再生モデル

ベッドタウンと呼ばれるまちから新たな価値を生み出すまちへのイノベーションを目指し、多様な世代、主体による異なる価値観から新たな事業等を生み出し続けていきます。

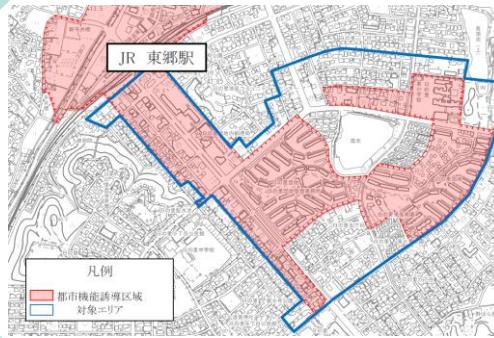
官民連携まちなか再生事業採択

エリアプラットフォーム活動支援事業について

地域や都市が地方と都心で連携し、人や事業が交流することで双方発展することを目的とする「地方都市イノベーション拠点」で採択



対象エリア



組織体制 組織体制図



地区の現状

高度成長期に開発された住宅団地であり、職と住が分離された状態が続いていることが課題

Well-being

地区の課題から事業を生み出し、経済的な成長につなげていくエリアとするため、都市部の企業との連携に取り組む。将来イメージとして、策定したビジョンに共感した事業者との連携により、郊外住宅地を舞台に新たな事業が創出され続けることを目指す。

イノベーション



ダイバーシティ



都市計画、建築、都市経営、社会学等のあらゆる分野からアプローチがなされてきた「都市再生」を分野融合、領域横断的なアプローチによって、実践的な知見・理論・分析を行う学会を、令和6年1月に立ち上げます！

都市再生学会 (まちPLAY学び楽しむ会)

○ 学術研究・実務研究・情報共有

全国大会・アクションリサーチの開催、都市再生の活動、実務実践の報告

○ 都市再生学会オンラインジャーナル

○ 学会賞・表彰 ○ 人材育成・検定・認証 ○ 普及啓発・社会貢献・政策提言

(事務局:NPO法人まちづくり宗像)

【のるーと関連アプリ】



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



アプリの登録・利用方法は
YouTube「のるーとチャンネル」▶

のるーとチャンネル

検索



ご清聴ありがとうございました。

宗像市のふるさと納税も
ぜひよろしくお願ひします♪



ブランド「あまおう」



ブランド「釣りあじ玄ちゃん」



鐘崎天然とらふく

 宗像市